

新潟労福協

No. 4 2011年1月31日
 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
 950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
 Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
 E-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
 URL http://niigata.rofuku.net/
 発行人 江花 和郎

2011年 明けましておめでとうございます
 全勤労県民が「支え合い」で温かい血の通った
 地域・職場・社会の確立に邁進しよう



2011年
 新年明けまして
 おめでとうございます

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	専務理事	副理事長	副理事長	理事長
長崎	坂井	小島	小原	岡田	土田	斎藤	小谷	渡辺	諸橋	山田	五十嵐	阿部	佐藤	佐久間	山阪	板井	金子	田才	江花
清一	恒夫	晋	幹雄	雅彦	啓介	敏明	いく	章衛	孝雄	太郎	和彦	幸夫	光雄	義久	光男	悌二	博	榮敏	和郎
総合生協	労働金庫	連合新潟	労信協	総合生協	労働金庫	連合新潟	情報労連	運輸労連	交通労連	J P 労組	連合新潟	電機連合	JAM新潟	新教組	Uイゼン	自治労	連合新潟	総合生協	連合新潟

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
**2011年新春労働団体
 友誼団体名刺交換会**
 423名が参加して相互の連帯活動確認

2011年1月5日(水)ANAクラウンプラザ



ホテルにて、新潟県労福協が主催して恒例の新春労働団体・友誼団体名刺交換会が開催されました。

開会にあたり主催者を代表して江花和郎理事長が挨拶。「昨年はパラダイム転換を訴えてきたが、政治も経済も方向が定まらないまま雇用環境は厳しさを増している。今年は『支え合い』をキーワードに地域貢献したい。労福協を使って下さい。」と表明、満場の拍手を受けました。

ご来賓挨拶として、泉田新潟県知事が登壇して「経済も雇用も工夫次第でまだまだ開発出来る。新潟県の食糧自給率はカロリーベースで100%。持続可能な地域づくりこそ重要。労働者福祉協議会と力を合わせて推進出来る事業もたくさんあると思う。共に頑張りましょう。」と祝辞が述べられました。



続いて篠田新潟市長が登壇され、「雇用環境が厳しい中、働く人たちのセフティーネットの充実が急務。新潟市の果たすべき役割も大きいと認識しているので、県と連携して労働者福祉事業に力を入れていきたい。」と挨拶がなされました。



ご来賓挨拶のあと、新年の初仕事として、江花理事長、金子副理事長（新潟労金理事長）、田才副理事長（総合生協理事長）、泉田知事、篠田市長による鏡割が行われました。続いて、ご来賓の内、政党（民主党・社民党・公明党）と総領事（在新潟大韓民国・中華人民共和国駐新潟）に加わって頂き、田才副理事長の発声で「乾杯」。



乾杯の後、会場はしばし歓談。アトラクシ

ョンとして、視覚障がい者の人たちを中心にした和太鼓グループ「江陵会」による万代太鼓の演奏が元気に行われました。藤田芳雄会長から、会の紹介が行われ、その後、4曲の太鼓演奏が勇壮に行われ、会場は満場の拍手に包まれました。

新潟県労福協は、勤労県民の雇用や労働条件の低迷が地域の元気を失わせているという認識から新潟県や新潟市に対して、労働者福祉に関する政策要請を行っています。新春名刺交換会での知事市長からの祝辞でも多くの共通した認識が示されました。中央労福協や東部ブロック労福協との連携も図りながら、具体的な事業展開に如何に結びつけて実効ある運動にしていくのかが試される年となるのではないのでしょうか。

懇親を深めあった最後に、金子副理事等の発声で「一本締め」がなされ、2011年新春労働団体・友誼団体名刺交換会は大盛況のうちに閉会されました。

Kuruko
 総合生協の宅配

**はじめませんか？
 クルコのある生活**

- ① 普段のお買い物が大変な方...
 ○ 子育て中で子供から目を離せない
 例えは ○ 妊娠中や高齢者で買い物が大変
 ○ お仕事等で帰宅時間が遅い など...
- ② 安全で安心な食材を購入したい
- ③ 県内産・国内産の食材を購入したい

クルコの宅配はこんな方に おすすめ

お問い合わせ 資料・サンプル請求
 フリーダイヤル 9:00~19:00(土・日・祝日)
0120-025-261

インターネット
 総合生協 クルコ (検索)
<http://www.niigata.coop/>

総合生協

R ろうきん

**これまでも、これからも
 物語の主役は
 「働く人たち」です。**

ろうきんは働く人の社会的・経済的地位の向上と福祉の増進を目指し、働く人たちの熱い期待を担って創設されました。

新潟県労働金庫
0120-191-880
 (平日9:00~17:00)

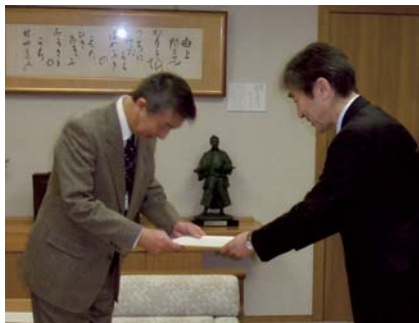
新潟ろうきん 検索

新潟ろうきん創立協会の様子 1952年(昭和27年)5月

平成23年度予算編成に向けた政策提言 篠田新潟市長へ要請書提出

セーフティネット強化と公契約での労働条件の抜打チェック確認

2011年度の新潟市予算編成に勤労者の生活向上に繋がる政策提言を行う為の要請書が12月21日に江花理事長から篠田市長に提出されました。



要請内容は、6分野にわたる事から、主に格差・貧困の是正とセーフティネット強化、多重債務対策や、公契約条例に関する件を中心に意見交換がなされたところ。

セーフティネット強化策の一つであるパーソナルサポート事業については当面は国の基金事業となる事から県との連携、官民合同の受け皿作りについての意見交換を図る事となりました。



公契約関係では、新年度で入札事業について指定管理者も含めて、抜打ちのチェックを行い状況把握に努める考えが示されました。条例については先進事例の調査を行った上で、条例化が有効かどうかを検証した上で検討したいと回答されました。多重債務対策は自殺予防対策と合わせて総合的な視点で力を入れて実施していく考えが提示されました。

要請行動には新潟市内をエリアとして活動している新潟地区労福協の副会長・事務局長も一緒になったの取組となりました。要請全般については、後日文書による回答がなされることが確認されて終了しました。

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (平成22年3月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高 (千円)
無担保ローン	8,130,572
住宅ローン	97,358,881
合 計	105,489,454

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38
財団法人新潟県労働者信用基金協会

社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンター 全福センターが中央労福協加盟

中小企業勤労者の福祉向上を目指すことで一致

新潟県内6か所(新潟・長岡・上越・三条・新発田・燕西蒲)の勤労者福祉サービスセンターが加盟している社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンター(198団体・130万人)が中央労福協に加盟しました。

同センターは全国の勤労者福祉サービスセンターや互助会、共済会の活動をサポートしている厚生労働省所管の公益法人です。国が各勤労者福祉サービスセンターへの補助金を打ち切る方針から、中小企業労働者の福利厚生が悪化することへの危機感から相互に連携強化して運動を進めることとなりました。

県ライフサポートセンター(LSC) 運営委員会で活動検証・事業展開検討

NPO団体訪問など地域ネットワークの推進確認

県LSC運営委員会が12月7日総合生協新潟中央支局にて開催され、地域LSCの「コア」「サテライト」への移行後の事業活動について検証作業が行われました。

サテライトに移行した地域はコーディネーター配置密度は低下しましたが、連携するコアへの自動転送により留守電対応が無くなり、相談事業の大半を占める電話対応ではコアがカバーすることにより大幅に機能が強化されました。

今後、各地域でのネットワーク強化に向けて、地域のNPO団体との連携を模索するための訪問活動を展開することとなりました。

また、5か年計画での進捗状況を見た上で、最終年度(2012年度)を待たずに、コアとサテライトの組織再整備を図ることとなりました。その上で、第6年度以降の事業・財政計画が検討されることとなります。LSC事業の成否は、地域ネットワーク形成に掛っており、行政やNPO団体との連携が重要となっています。

**ニッポンの
原動力・連合**
すべての働く者のために頑張る!

希望と
安心の
社会づくり

2011春季生活闘争スタート!!

連合は下がり続ける賃金の「復元」と非正規労働者を含めた「格差是正」に全力で取り組みます!!

“全国一斉労働相談ダイヤル”を実施

2011年2月14日(月)～16日(水) 10:00～20:00

フリーダイヤル 0120-154-052

連合新潟ホームページ

連合新潟

検索

東部ブロック労福協

第45回定期総会で活動方針決定

江花理事長が副会長に再任される



東部ブロック労福協は11月25日に栃木県宇都宮市にて第45回定期総会を開催。東部ブロックは、新潟・東京・群馬・埼玉・千葉・茨城・栃木・長野・山梨・神奈川・静岡の1都10県で構成され、エリア内の労働者福祉事業に関する情報交換や中央と連携した活動展開を行っています。

総会は江花副会長（新潟県労福協理事長）の挨拶で開会され、遠藤会長（東京労福協会長）より主催者挨拶、大森事務局長より2010年度の活動報告・会計報告がなされました。監査報告も含め、全体の拍手で報告事項は承認されました。

続く審議事項では、年間の活動計画や予算について提案通り承認されました。また、福祉リーダー塾の今後の展開については、新年度の幹事会で集中論議が出来るよう企画されることとなりました。

雇用の厳しさをはじめ、勤労国民の生活は益々格差が拡大して、社会全体の歪みも極に達しており、論議全体が「格差社会の是正」に如何に立ち向かうのかということに集中しました。各県の労福協の組織・運動実態に開きがあるものの、労働者福祉政策と活動を推進していく労福協の役割の大きさと重要性について一致した認識が確認されました。役員改選では、江花新潟労福協理事長がブロックの副会長に、金子専務理事が幹事として再任されました。

新潟県ライフサポートセンター コーディネーター研修会実施 運営委員交えて講演・ロールプレー

県LSCは、コーディネーターのスキルアップを図る目的で、12月7日（火）総合生協中央支局にて研修会が実施されました。



研修会は第1部として、新潟フェミニストカウンセリングセンターまで代表理事の荻野茂子氏から「相談者と目線を合わせる

ノウハウの極意」と題した講演を受けました。講演でコーディネーターの仕事は「情報提供・問題分析、紹介、代弁・擁護、社会福祉援助、心理援助」をトータルに差配する立場であることが実例を挙げて話されました。

続いて、コーディネーターと一緒に受講した運営委員も交えて、実践しながらのロールプレー（RP）が行われました。RPは、二人一組でチームをつくり、5種類の相談事例で、相談者・コーディネーター役になって掛け合う形で進行了。相談者役も真剣、受けるコーディネーターもメモを取りながら懸命に問題点を整理するための聞き手・聞き取りの役割に汗だく。最後に、参加者からの感想が述べられ、講師から批評とアドバイスを受けました。



普段から業務に携わっているコーディネーターからも、日頃は別の仕事をされている運営委員からも「コーディネーターの役割が相談者の生き方を左右するだけに大いに勉強になった。」との感想が寄せられました。

先進地視察に代わる研修会でしたが有意義うちに実施することが出来ました。

勤労者の暮らしをサポート 育成会

育成会は労金会員が設立した組織。県内に働く勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援育成することが主な目的です。平成21年度は県内各地で以下の活動が行われました。

- ・文化講演会、福祉施設への助成
- ・ライフプランセミナー（多重債務問題）、住宅セミナー
- ・プロ野球観戦、サッカー観戦ツアー
- ・ゴルフコンペ、ボウリング大会

夢咲Clubの活動

- 労働金庫、総合生協、その他団体が行う労働者福祉事業の利用をはかること。



- 会員の生活向上および相互の親睦をはかること。
- 会員の福祉活動に関する知識の向上をはかること。

会員には四季を通じて情報誌(夢咲club通信)をお届けしています。

育成会と夢咲Clubの事務局は「新潟県ライフサポートセンター内」に移転しました。

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: ni-lscr@apost.plala.or.jp

県ライフサポートセンター ライフプランセミナー開催

県内8会場で内輪運動から脱却する企画



開催地区 日 程 会 場
◎テーマ・演題

新 潟	11月26日(金)	ガレツホール	◎詐欺の手口事例から学ぼう
佐 渡	11月27日(土)	アミューズメント佐渡	◎食品添加物について
県 央	11月25日(木)	総合福祉センター	◎介護保険制度
中 越	10月29日(金)	アトリウム長岡	◎多重債務に陥らないために
十日町	10月27日(水)	十日町市情報館	◎働く人のこころと身体健康プラン
柏 崎	10月1日(金)	ワークプラザ柏崎	◎自殺予防 あなたのためのメンタルヘルス
上 越	12月16日(木)	上越市民プラザ	◎マネートラブルにかつ！
糸魚川	11月12日(金)	ビーチホールまがたま	◎定年に備えるライフプラン

地域に貢献するNPOや
市民活動団体の力になりたい！

2010年度「NPO等助成事業」は、
18団体に総額813.8万円を助成しました。

【当財団の助成事業】

新潟県労働金庫からの寄付金1億円を基金に、平成15年から10年間の計画
毎年1,000万円をNPO等市民活動団体に助成することで、
勤労者・県民の社会的・経済的・文化的地位の向上に寄与する
ことを目的としています。

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫内
(財)新潟県勤労者福祉厚生財団

地域の幸せと力に

県ライフサポートセンター(LSC)は、県内8箇所で行うライフプランセミナーを開催。

本年度の取組の特徴は、各地区でニーズに合ったテーマを絞り込み、実施主体は地区労福協の内輪だけで行うのではなく、地域の労働者福祉に関わる行政や市民活動団体などと幅広く連携して、共催や後援を受けて実施されたことです。

これまでは、地区労福協が主体となって労福協を構成する連合・労働金庫・総合生協を中心にした「内輪的な研修」という性格が強かった事業でした。前年度までの反省で、せっかくの充実した内容の企画でありながらも、内輪の動員の参加状況でもったいないという意見が強かったことから実行主体を地域に広げ、PR先も組織内から一般市民向けにシフトされました。

今年度は、動員型ではない企画について各地域が主体となって練り上げられました。テーマ設定・主催団体・後援団体の組立をはじめとした事業全体の企画について地域発となった結果、実施箇所数・参加者数とも前年度数を下回りましたが、地域勤労者に顔の見える事業としての質的な変化が見られました。また、地域のことは地域で考えていく企画・実践力を醸成する機会ともなりました。

今後、事業結果報告を集約しながら地域への広がりや、課題を精査される予定です。

地域毎で創意工夫して勤労者と一体となった活動が出来ることの可否が、地域コミュニティ再生・持続可能な地域社会再生のカギとなります。各地域でご協力頂きました個人・団体の皆様方に心より感謝申し上げます。

当面の日程

- 2月4日(金) 新潟県知事要請行動
- 2月21日(月)～22日(火)
第181回東部ブロック幹事会
- 3月10日(木)～11日(金)
第3回地方労福協会議
- 3月23日(水) 県労福協第86回理事会
- 〃 第6回新潟県LSC理事会
- 5月18日(水) 県労福協第87回理事会
- 〃 第7回県LSC理事会
- 5月19日(木) 第24回チャリティーゴルフコンペ
- 6月8日(水) 県労福協第26回定時総会
- 〃 第4回県LSC通常総会
- 6月9日(木)～10日(金)
全国研究集会(仙台)
- 7月7日(木)～8日(金)
第4回地方労福協会議

すべての自動車に加入が義務づけられている賠償保障

ZENROSAI NEWS

自賠責共済

自動車やバイクを運行中に他人に損害を与えてしまったときの対人賠償事故を補償する、法律で加入が義務づけられている制度です。

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済のポイント

車やバイクを
持つ人
みんなの義務

対人賠償事故
を
補償します

加入忘れ・
期限切れに
ご注意

もし加入しないまま車やバイクに乗ると法律により罰せられます！

【お申し込み・お問い合わせは全労済新潟各支所へ】全労済新潟（新潟県総合生活協同組合内）

支所名	電話番号	支所名	電話番号
新潟中央支所（新潟中央支局内）	025-245-4150	中越支所（中越支局内）	0258-83-4151
下越支所（下越支局内）	0254-22-2241	上越支所（上越支局内）	025-543-3789
県央支所（県央支局内）	0256-34-5658	佐渡支所	0259-57-2824

保障のことなら ※総合生協内に自賠責共済事務所を開設しています。自賠責共済についてのお問い合わせは、全労済新潟までご連絡ください。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

1510A20

カラスの勝手？

●去年は「格差」「貧困」「孤立」といった社会が崩れていくイメージの言葉が度々登場した。何でもかんでも世の中が悪くなる一方の暗いイメージで覆い尽くされたかのようなだった。雇用も、経済も、政治も。●伊達直人なるタイガーマスクブームが報道されるやいなや、タイガーマスクの漫画世代でない若者も含め、堰を切ったように次々と全国に伊達直人・タイガーマスクが出現して、何らかの事情で親元から離れて生活している児童施設などに贈り物や寄付金が寄せられている。●一部を除き、決して多額とは言えないものの心温まる児童支援がなされている。全国あしなが会や社会福祉協議会でもHPなどを通して、「本当にありがたい。でも事前に施設に『必要の物』を問い合わせしてからにして頂くと更に有り難い。」とうれしい悲鳴。●悪い世の中の好転は「落ちるところまで落ちないと大衆は目が覚めない。」と言われるが、今の世が、その、「落ちるところまで落ちた時期からの反転開始」とでも考えたらいいのか？●大きな良いことと、小さな良いことで、取り上げ方によっては小さい方が感激を与え、人々に温かい血の通った人間らしさを訴えることも出来る。昨年からスタートした子ども手当は、「社会で子育て」という大政策転換事業であるにも関わらず、一部のマスコミや冷やかし連中から「税金のばらまき」と評された。税金を投入した大きな良いことも、個人の善意の小さな良いことも、どちらも良いことではないか。●政治が混迷すると（特に今のような衆参ねじれなど）高い議員報酬で活動が支えられている先生方が、双方で足の引っ張り合いを演じる。次の選挙に向けたパフォーマンスとして。●伊達直人・タイガーマスクは政争に絡められることなく行われていることが個人の心・意思を動かした。●労福協は「福祉は一つ」を標榜し、全国でサラ金対策・多重債務対策など社会改善の大きな仕組みづくりに汗をかいて活動している。足元の生活者のためのライフサポートセンター事業など小さな活動もしている。大きいことも小さいことも「良いこと」がいいのだ。●タイガーマスクの奮闘だけでは「格差」「貧困」「孤立」の全的解消は困難。政策提言能力を高め、勤労者と連帯し、自ら汗をかいて運動主体となることが労福協に求められているのではないか。●ジャーン。

一般社団法人新潟県労働者福祉協議会を構成する団体紹介

日本労働組合総連合会新潟県連合会（連合新潟）、新潟県労働金庫、新潟県総合生活協同組合、(財)新潟県労働者信用基金協会、(財)新潟県勤労者福祉厚生財団、(株)コープサービス、連合新潟高齢者協議会